

令和7年7月4日

New FOCUS [地域から見える新たな視点]
Vol.1「地域の未来を見据えて
～ローカル・ゼブラ企業とともに歩む～」編 公表

「New FOCUS Vol.1」は、「地域の未来を見据えて～ローカル・ゼブラ企業とともに歩む～」編をお届けします。

人口減少などで地域の課題が複雑化・顕在化する中で、事業を通じて収益性を確保しつつ、地域課題の解決に取り組む「ローカル・ゼブラ企業」に注目が高まっています。こうした中、当局では、昨年度実証事業(※)に採択された関西圏の事業者に対して、地域の今後を見据えた取組や、その取組に至った背景・経緯等について、取材を行いました。今回は、地域の未来を自分事として捉え、少しでも魅力ある地域を目指す取組として、4事例を御紹介いたします。

こうした事業者が持つ目線は、多くの文化資本・自然資本を誇る関西圏の事業者の皆様にも通底する点があるかもしれません。是非、ご覧下さい。

※令和6年度「地域の社会課題解決企業支援のためのエコシステム構築実証事業（地域実証事業）」

【公表事例(4件)】※公開日順 ※公開日の14:00から[公式note](#)よりご覧いただけます。

公開日	事業者名	所在地	タイトル
7/4(金)	株式会社ウエダ本社	京都府 京都市	事務機卸から「働く環境の総合商社」へ ～働く場を問い続ける～
7/8(火)	一般社団法人リリース	京都府 京都市	未来が歓迎する美しい経済を将来世代 に手渡すために
7/11(金)	株式会社まちから	福井県 高浜市	ローカルビジネスで100年後も続くサステ ナブルなまちづくり
7/15(火)	一般社団法人 ソーシャル企業認証機構	京都府 京都市	共感と共助の輪が育むあたたかな地域 社会を目指して





【概要】

- 今回の「New FOCUS vol.1」は、「地域の未来を見据えて～ローカル・ゼブラ企業とともに歩む～」をお届けします。
- 急速かつ不可逆的な人口減少などを受け、多様かつ複雑な地域課題が多く顕在化しています。こうした中、事業を通じて収益性を確保しつつ、課題解決に取り組むローカル・ゼブラ企業に注目が高まっています。
- そこで今回、昨年度の実証事業に採択された関西圏内の4事例について、取材を行いました。地域の今後を見据えた取組について、その背景や取組に至った経緯等をご紹介します。
- 今回の取材を通じて、事業者、行政、住民をはじめとしたステークホルダーそれぞれが、地域の未来を自分事化し、手を取り合い、“ゆるやかなリーダーシップ”を発揮しながら、地域の魅力向上に向けて取り組む姿が見受けられました。
- こうした観点は、多くの文化資本・自然資本を誇る関西圏の事業者の皆様にも通底する点があるかもしれません。引き続き、こうしたローカル・ゼブラ企業支援に取り組んでまいります。



New FOCUS 公式 note でも記事を配信中です。是非ご覧下さい。

<https://smepprd-kansai-meti-gov.note.jp>

【参考】

○New FOCUS [地域から見える新たな視点]

経済産業省近畿経済産業局は、近畿 2 府 5 県(福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)における経済産業施策の総合的な窓口機関として年間 1,000 件以上、地域企業の実態把握や施策立案のための企業訪問を行っています。

予測困難な状況下(VUCA の時代)において、地域経済を支える中小企業・小規模事業者が「稼ぐ力」を強化するには、固定観念に縛られず新たな取組に踏み出すことが重要です。「New FOCUS」では、新たな取組を実行する関西の地域や中小企業に焦点をあて、経営者や現場から見える新たな“視点”に着目して、事例紹介を行って参ります。

※)この度、マイルストーンとしていた 2025 年を迎えたこと等を踏まえ、2019 年から多数の企業事例の紹介をしてきた「関西
おもしろ企業事例集～企業訪問から見える新たな兆:KIZASHI～」の名称・コンセプトを一新しました。

<https://www.kansai.meti.go.jp/1-9chushoresearch/jirei/jireitop.htm>



(本発表資料のお問い合わせ先)

総務企画部 中小企業政策調査課長 阿瀬

担当者: 作野、浜田、田中

電話: 06-6966-6057

